

After Life---死後の世界

Questions:

- 1) Do we cease to exist? 私たちは死後、存在しなくなるのでしょうか？
- 2) Is there conscious existence after death? 死後には、私達の意識はあるのでしょうか
- 3) Is there a difference in what happened to Old Testament saints versus New Testament believers? 死後、旧約聖書の聖徒達と新約聖書の信者に何が起こったのか、そこに違いはあるのでしょうか。

Definitions

Death, die 死

DIE 1. apothnesko (NT:599) (a) the separation of the soul from the body, 魂の体からの分離

DEATH 1. thanatos (NT:2288), "death," is used in Scripture of:

(a) the separation of the soul (the spiritual part of man) from the body (the material part), the latter ceasing to function and turning to dust, e. g. 体から魂の分離、体は機能しなくなり、ちりとなる

(from Vine's Expository Dictionary of Biblical Words, Copyright © 1985, Thomas Nelson Publishers.)

Definition does not say cease to exist.

定義では、存在しなくなるとは言っていません。

Scriptural examples 聖句

- (1) Do we cease to exist? 私たちは死後、存在しなくなるのでしょうか？
Is there conscious existence after death? 死後には、私達の意識はあるのでしょうか
- Luke 23:42-43 ルカの福音書 23 : 42-43
It proves that he exists after death. If his soul sleeps, he can't be with Jesus
この聖句は、彼が死後に存在することを証明しています。彼の魂が眠るならば、彼はイエスと一緒にいることはできません

- Matthew 22:24-32 マタイの福音書 22 : 24-32
Abraham is living right now in spirit not in body.
アブラハムは今、肉体においてではなく霊において生きています。
- 1 Samuel 28:11-15 サムエル記上 28 : 11-15
God took Samuel out of Sheol. He existed in spirit form. 神は陰府からサムエルを連れてきました。彼は霊の形で存在していました。

(3) Is there a difference in what happened to Old Testament saints versus New Testament believers? 死後、旧約聖書の聖徒達と新約聖書の信者に何が起こったのか、そこに違いはあるのでしょうか。

Old Testament Saints 旧約時代の聖徒

- Luke 16:19-31 ルカの福音書 16 : 19-31
Abraham and the rich man were conscious. There are 2 side in Hades—good side and bad side. Abraham and Lazarus were in good side and the rich man was in bad side.
アブラハムと金持ちは、死後も意識がありました。ハデスには、良い側と悪い側があります。アブラハムとラザロは、良い側にいましたが、金持ちは悪い側にいました。
- Eph 4:7-12 エペソ人への手紙 4 : 7-12
Jesus took captivity captive. He took everything out of good side.
イエス様は陰府に行き、とりこを捕らえにいきました。
イエスは良い側のすべてのものを取り出しました。
- 1 Pe 3:18-22 ペテロ第1の手紙 3 : 18-22
In the days of Noah, there were those who sometimes disobedient to God, but most of the time they were righteous. They did not make it to the ark and died. Jesus went to the good side of Sheol(Hades) and preached to them.
ノアの時代に、神に対して時には反抗的でしたが、ほとんどの時には正しい者だった人々がいました。彼らはノアの箱船には入ることなく死にました。イエスは陰府（ハデス）の良い側に行き、彼らに説教しました。

New Testament believers 新約時代の信者

- 2 Co 12:2-4 第二コリント人への手紙 12 : 2-4
This shows that 3rd heaven and paradise are the same. Before Jesus died, they were not same.
これは第三天と楽園が同じであることを示しています。イエスが死ぬ前は、それらは同じではありませんでした。
- Jn 14:2-4 ヨハネの福音書 14 : 2-4
Where is Jesus? Heaven. We will be with him.
イエス様はいま天国にいます。私たちはイエス様と一緒にになります。
- Mt 5:11-12 マタイの福音書 5 : 11-12
You cant have a reward if you wont be able to go there and get access to it.
私たちは、天において報いを受けます。天国に行くことができないならば、報酬はもらうことができません。
- Php 3:20 フィリピ人への手紙
We are citizens of that kingdom so we have a place there
私たちの国籍は天にあるとっているので、天に私たちの場所があるはずです。
- Rv 19:1 黙示録 19 : 1
Many people in heaven. たくさんの人が天国にいます。
- Rv 20:14 黙示録 20 : 14
Just as the good side of hades was brought to heaven the bad side is cast into the lake of fire
ハデスの良い側が天に持って来られたのと同じように、悪い側は火の池に投げ込まれます。

Arguments against souls sleep 魂が眠るという教えに対する反論

1. Separation. If we can show that we separate from our body at death then the argument of soul sleep is invalid. Even the definition of death means to separate.

1.分離。私たちは死後、私たちの体から分離しているということを示すことができるならば、魂が眠るという教えは無効です。死の定義は、分離することを意味します。

2. **Consciousness after death. If we can show examples in scripture of those who were conscious after death then the idea of soul sleep is invalid.**

死後の意識。聖書の中で、死後、人々に意識があるということを示すことができるならば、魂が眠るという教えは無効です。

3. **Sleep is symbolic of death. Those that teach soul sleep say it is literal and you literally sleep in death**

眠るということは死の象徴です。しかし魂が眠るということを教える人は、それが言葉通りで死後、眠ることだと教えます。

Separation

1 Ki 17:21 (列王記上) そして三度その子供の上に身を伸ばし、主に呼ばわって言った、「わが神、主よ、この子供の魂をもとに帰らせてください」。

If he ceased to exist his life could not return. Where would it return from? Some versions say Let his soul return.

死後彼が存在しなくなるのであれば、彼の命は戻ることはできないはずですが。それはどこから戻るのでしょうか？一部のバージョンでは、彼の魂を復帰せよと言ってます。

2 Co 5:8-11 (第2コリント) それで、わたしたちは心強い。そして、むしろ肉体から離れて主と共に住むことが、願わしいと思っている。5:9 そういうわけだから、肉体を宿としているにしても、それから離れているにしても、ただ主に喜ばれる者となるのが、心からの願いである。5:10 なぜなら、わたしたちは皆、キリストのさばきの座の前にあらわれ、善であれ悪であれ、自分の行ったことに応じて、それぞれ報いを受けねばならないからである。

5:11 このようにわたしたちは、主の恐るべきことを知っているのです、人々に説き勧めます。わたしたちのことは、神のみまえには明らかになっている。さらに、あなたがたの良心にも明らかになるようにと望む。

To be absent from the body is to be present with the Lord. You can't be present with the lord if you soul sleep. Do you expect to see a bunch of snoring people in heaven?

肉体から不在になるということは主と共に存在するという事です。あなたの魂が眠っているなどするならば主と共に存在することはできません。あなたは天国でたくさんの方がいびきをかきていると思いますか？

Ge 35:18-19 (創世記) 彼女は死にのぞみ、魂の去ろうとする時、子の名をベノニと呼んだ。しかし、父はこれをベニヤミンと名づけた。 35:19 ラケルは死んでエフラタ、すなわちベツレヘムの道に葬られた。

Lk 8:54-55 (ルカの福音書) イエスは娘の手を取って、呼びかけて言われた、「娘よ、起きなさい」。 8:55 するとその霊がもどってきて、娘は即座に立ち上がった。イエスは何か食べ物を与えるように、さしずをされた。

We see the soul departing and the spirit returning. This shows the souls and spirit are together.

ここでは魂が離れて霊が戻ってきています。これは、魂と精神が一緒だということです。

Jas 2:26 (ヤコブへの手紙) 霊魂のないからだが生きたものであると同様に、行いのない信仰も死んだものなのである。

It doesn't say that the spirit without the body is dead.

肉体のない霊が死んでいるとは言っていません。

Ecc 12:7-8 (伝道者の書) ちりは、もとのように土に帰り、霊はこれを授けた神に帰る。

Ac 2:31 (使徒行伝) キリストの復活をあらかじめ知って、『彼は黄泉に捨ておかれることがなく、またその肉体が朽ち果てることもない』と語ったのである。

Conscious after death 死後の意識

1. Scriptural examples in lesson 1
2. Other scriptures

Rv 6:9-11 (ヨハネの黙示録)

小羊が第五の封印を解いた時、神の言のゆえに、また、そのあかしを立てたために、殺された人々の靈魂が、祭壇の下にいるのを、わたしは見た。 6:10 彼らは大声で叫んで言った、「聖なる、まことなる主よ。いつまであなたは、さばくこ

とをなさらず、また地に住む者に対して、わたしたちの血の報復をなさないのですか」。 **6:11** すると、彼らのひとりびとりに白い衣が与えられ、それから、「彼らと同じく殺されようとする僕仲間や兄弟たちの数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいるように」と言い渡された。

Rv 4:10-11

二十四人の長老は、御座にいますかたのみまえにひれ伏し、世々限りなく生きておられるかたを拝み、彼らの冠を御座のまえに、投げ出して言った、 **4:11** 「われらの主なる神よ、あなたこそは、栄光とほまれと力とを受けるにふさわしいかた。あなたは万物を造られました。御旨によって、万物は存在し、また造られたのであります」。

Mt 17:3-4 (マタイの福音書)

すると、見よ、モーセとエリヤが彼らに現れて、イエスと語り合っていた。

Dt 34:5-6 (申命記)

こうして主のしもべモーセは主の言葉のとおりモアブの地で死んだ。 **34:6** 主は彼をベテペオルに対するモアブの地の谷に葬られたが、今日までその墓を知る人はない。

Moses appeared without his human body, because his body was in Moab

モーセは肉体なしで現れました。なぜなら彼の肉体はモアブにあるからです。

Sleep is symbolic of death, not a literal thing that happens when you die

魂の眠り死の象徴であり、死んだときに起こる文字通りの現象ではありません。

Jn 11:11-16 (ヨハネの福音書)

そう言われたが、それからまた、彼らに言われた、「わたしたちの友ラザロが眠っている。わたしは彼を起しに行く」。 **11:12** すると弟子たちは言った、「主よ、眠っているのですしたら、助かるでしょう」。 **11:13** イエスはラザロが死んだことを言われたのであるが、弟子たちは、眠って休んでいることをさして言われたのだと思った。 **11:14** するとイエスは、あからさまに彼らに言われた、「ラザロは死んだのだ。 **11:15** そして、わたしがそこにいあわせなかったことを、あなたがたのために喜ぶ。それは、あなたがたが信じるようになるためである。では、彼のところに行こう」。 **11:16** するとデドモと呼ばれているトマスが、仲間の弟子たちに言った、「わたしたちも行って、先生と一緒に死のうではないか」。

Mt 9:18 "My daughter has just died; NASU わたしの娘がただ今死にました。

Mt 9:24-25 「あちらへ行っていなさい。少女は死んだのではない。眠っているだけである」。すると人々はイエスをあざ笑った。9:25 しかし、群衆を外へ出したのち、イエスは内へは行って、少女の手をお取りになると、少女は起きあがった。

1 Th 4:13-18 (第1テサロニケ)

兄弟たちよ。眠っている人々については、無知でいてもらいたくない。望みを持たない外の人々のように、あなたがたが悲しむことのないためである。4:14 わたしたちが信じているように、イエスが死んで復活されたからには、同様に神はイエスにあって眠っている人々をも、イエスと一緒に導き出して下さるであろう。4:15 わたしたちは主の言葉によって言うが、生きながらえて主の来臨の時まで残るわたしたちが、眠った人々より先になることは、決してないであろう。4:16 すなわち、主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によみがえり、4:17 それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。4:18 だから、あなたがたは、これらの言葉をもって互に慰め合いなさい。

Here sleep is symbolic of those who have died. The unbelievers have no hope because they think that the loved one is gone forever. If soul sleep is true then the same thing happens to the righteous and unrighteous. They all sleep or cease to exist. So then there is no difference. How could we not be grieving as those who have no hope? Our hope is that if we die we will see them in heaven and if we live that they will be raised in the rapture and we will join them and all will be changed in a moment in a twinkling of an eye 1 Corinthians 15:52. The rapture is the greatest hope. We are changed. Satan is cast out of the court of heaven down to the earth and we are caught up.

ここでの眠りが死亡した人々の象徴です。不信者は愛する人が永遠に失われていると思うので、希望を持っていません。魂の眠りが真実ならば、同じことが義者にもと不義者にも起こります。すべての人がスリープ状態になるかまたは存在しなくなります。そこには違いがありません。何の希望を持っていない人のように私たちは悲しむことができますか？私たちの希望は、私たちの死後、天国でみんなに会えるということ、もしも生き延びているならば、携挙によって先に死んだ人たちと一緒にいるということです。

Scriptures that seem to support soul sleep

魂の眠りをサポートするように見える聖句

1. **Ge (創世記) 3:19** あなたは顔に汗してパンを食べ、ついに土に帰る、あなたは土から取られたのだから。あなたは、ちりだから、ちりに帰る」

It doesn't say your body is dust. It says **you are dust**. And **you shall return to dust**.

あなたの体が塵である言っていません。あなたが塵であると言っています。そして、あなたは塵に返ると言っています。

2. **Ecc (伝道の書) 3:19-21** 人の子らに臨むところは獣にも臨むからである。すなわち一様に彼らに臨み、これの死ぬように、彼も死ぬのである。彼らはみな同様の息をもっている。人は獣にまさるところがない。すべてのものは空だからである。 **3:20** みな一つ所に行く。皆ちりから出て、皆ちりに帰る。 **3:21** だれが知るか、人の子らの霊は上へのぼり、獣の霊は地にくだるかを。

Ecc 9:5-6 生きている者は死ぬべき事を知っている。しかし死者は何事をも知らない、また、もはや報いを受けることもない。その記憶に残る事がらさえも、ついに忘れられる。 **9:6** その愛も、憎しみも、ねたみも、すでに消えうせて、彼らはもはや日の下に行われるすべての事に、永久にかかわることがない。

Solomon the author of the book did not believe in soul sleep, because he said in Chapter 12:7 that the Spirit returns to God who made it. Further the book uses the expression "Under the Sun" 29 times. So the perspective of this book is from the viewpoint of what things look like on earth.

伝道の書の著者ソロモンは、魂の眠りを信じていません。12章7節で霊は、霊を作ってくれた神の元へ戻ると言っています。またこの本の中では、「太陽の下」という表現を29回使用しています。だから、この本の視点は、地球で物事がどのように見えるかを語っています。また9章6節の彼らはもはや日の下に行われるすべての事に、永久にかかわることがないという聖句は、地球における観点から話されています。このことをサポートしています。はこの人生の出来事に関連して何も知りません。

3. **Ps (詩篇) 146:3-5** もろもろの君に信頼してはならない。

人の子に信頼してはならない。彼らには助けがない。その息が出ていけば彼は土に帰る。その日には彼のもろもろの計画は滅びる。ヤコブの神をおのが助けとし、その望みをおのが神、主におく人はさいわいである。

The context of this passage is a key. His thoughts in verse4 are his plans on this earth. If the spirit departs then the thoughts which perish have to be in relationship to the plans for this life.

verse4 の彼の計画とは、この地球上での計画です。地球上での計画は滅びるが、私たちの霊は肉から離れ神の元に戻る、そのことに望みを置くものは幸いであるとしています。

4. Jn (ヨハネの福音書)3:12-13 わたしが地上のことを語っているのに、あなたがたが信じないならば、天上のことを語った場合、どうしてそれを信じるだろうか。 3:13 天から下ってきた者、すなわち人の子のほかには、だれも天に上った者はない。

This is used to say no one goes to heaven. At the time of this verse Jesus had not yet died. People went to sheol the place of departed spirits. When Christ ascended he took them to heaven. There are many examples of people in heaven. The 144000, many people in Revelation 19, the 24 elders, We have an inheritance reserved for us in heaven 1st Peter 1:4

この聖句は、誰もが天国に行かないと解釈される人によく使われます。この聖句が語られたとき、イエスはまだ死んでいませんでした。人が死んで霊が肉体から離れると、陰府に行きました。キリストが昇天するとき、彼は陰府の良い側にいた人を天に連れて行きました。天国にいる人々の例は、聖書にたくさんあります。黙示録 7 : 4 に書かれてある 144000 人、黙示録 19 で言われている多くの人々、24 人の長老たち、第 1 ヨハネの手紙 1 : 4 の「あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しぼむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである」などです。

Heaven

Many view heaven as a place a like earth, with a few colors and sounds that we don't have here. A place where you can fish all the time, dive into the water, breathe under water and see exotic life which is beyond what exists here. A place where you can meet every dog and cat that you lost on earth. Heaven is a place to meet all the relatives and have endless reunions. Others say there are angels on clouds with harps and all we do is sing hymns all day long. Peter stands at the gate to decide who gets in. (He has the keys of the kingdom.) Heaven has streets of Gold. Can you imagine?

多く人は、天国を地球のような場所で、ただ地上にはないいくつかの音や色がある場所だと思っています。いつでも魚釣りができて、水に飛び込み、水中でも息をすることができ、ここに存在するものを超えたエキゾチックな生

活を見ることができる場所。あなたは地球上で失なったすべての犬や猫に会える場所。すべての親戚に会って、無限の再会をすることができる場所。ある人は、天使がハープを持って雲に乗り、我々是一日中賛美歌を歌っていると言います。ある人はピーターが門のところに立ち、誰が入れるか決めていると言います。（聖書で、彼は王国の鍵を持っていると言われています）ある人は、天国には金の通りがあると言います。

あなたには想像できますか？

Most of us have heard that heaven is a place where the streets are paved with gold, the gates are made of pearl, and the walls made of precious jewels. Those images come from [Revelation 21](#), which offers us the most extended picture of heaven in the entire Bible. If you ask me if I believe those things are literally true, the answer is yes and no. Yes, they are literally true but no, heaven won't be anything like we imagine. It will be much greater.

ほとんどの人は、天国は金で舗装されて、門は真珠で作られ、壁は貴重な宝石で作られていると聞いたことがあります。これらことは黙示録 21 章で語られており、聖書の中で天国のことが一番よく描写されている箇所です。では、これらの描写が文字通りに真実であるかと聞かれたならば、私の答えは、**YES** および **NO** です、**YES**:文字通り真実です。**NO**:なぜなら天は私たちが想像できるような所ではありません。想像をはるかに超えた場所です。

Here's a delightful legend that makes the point very well: [ここにポイントをついた有名な話があります。](#)

I love the old story of the rich man who, on his death bed, negotiated with God to allow him to bring his earthly treasures with him when he came to heaven. God's reaction was that this was a most unusual request, but since this man had been exceptionally faithful, permission was granted to bring along just one suitcase. The time arrived, the man presented himself at the pearly gates,

suitcase in hand- BOTH hands, actually, since he had stuffed it with as many bars of gold bullion as would fit. St. Peter said, "Sorry, you know the rules-you can't take it with you." But the man protested, "God said I could ... one suitcase." St. Peter checked, found out that this one would be an exception, prepared to let the man enter, then said, "OK, but I will have to examine the contents before you pass." He took the suitcase, opened it, saw the gold bars and asked quizzically, "You brought PAVEMENT?" [Note: This story is from the sermon "Heaven" by Dr. David Leininger, March 30, 1997]

私はこの古い話が好きなのですが、死にかけているある金持ちの人がいました。彼は神様と交渉して、天国に来るときに彼の地上での宝を持って来ることができるように頼みました。神様は、これは最も珍しい要求でしかもこの男が非常に忠実であったため、スーツケースを一つだけ持参することを許可しました。時が来て、男は真珠の門に到着しました。男は、金塊の延べ棒を詰めるだけ詰めて、両手でスーツケースを抱えていました。聖徒ペテロは、「申し訳ありませんが、ルールを知っていますよね。あなたと一緒に物は、何も持ってはいけません。しかし、男は「神様は、私がスーツケースを一つだけ持ってきていいと言いました。」と抗議しました。聖徒ペテロは、この男が言っていることが正しいとわかり、例外として彼とスーツケースを中に入れる準備をしました。そしてペテロは言いました。「わかりました。でもここを通り抜ける前に、スーツケースの中身を確認する必要があります。」ペテロはスーツケースを開けて、中に入っている金の延べ棒を見て、いぶかしげに尋ねました。「舗装用の材料を持ってきたのですか？」

When John writes about a street paved with gold, I do not doubt his words. He simply reports what he saw in his vision.

ヨハネが金の舗装道路について書いていますが、私は彼の言葉を疑いません。彼は単に彼のビジョンで見たものを報告しています。

What is heaven like? Here are some biblical facts about heaven. It is ...

天国はどんなところでしょうか？天国について書かれてある聖句をあげてみます。

- God's dwelling place ([Psalms 詩篇 33:13-14](#)).

主は天から見おろされ、すべての人の子らを見、そのおられる所から地に住むすべての人をながめられる

- Where Christ is today ([Acts 使徒の働き 1:11](#)).

「ガリラヤの人たちよ、なぜ天を仰いで立っているのか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであろう」。

- Where Christians go when they die ([Philippians ピリピ人手紙 1:21-23](#)).

わたしは、これら二つのものの間に板ばさみになっている。わたしの願いを言えば、この世を去ってキリストと共にいることであり、実はその方がはるかに望ましい。

- The Father's house ([John ヨハネの福音書 14:2](#)).

わたしの父の家には、すまいがたくさんある。もしなかったならば、わたしはそう言っておいたであろう。あなたがたのために、場所を用意して行くのだから。

- A city designed and built by God ([Hebrews ヘブル人への手紙 11:10](#)).

彼は、ゆるがぬ土台の上に建てられた都を、待ち望んでいたのである。その都をもくろみ、また建てたのは、神である。

- A better country ([Hebrews ヘブル人への手紙 11:16](#)).

しかし実際、彼らが望んでいたのは、もっと良い、天にあるふるさとであった。だから神は、彼らの神と呼ばれても、それを恥とはされなかった。事実、神は彼らのために、都を用意されていたのである。

- **Paradise (Luke ルカの福音書 23:43).**

イエスは言われた、「よく言うておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」。

- **"The heavenly Jerusalem" (Gal ガラテヤ人への手紙 4:26; Heb ヘブル人への手紙 12:22; Rv ヨハネの黙示録 3:12).**

しかし、上なるエルサレムは自由の女であって、わたしたちの母をさす。

- **The "kingdom of heaven" (Mt 25:1; マタイ書 Jas ヤコブの手紙 2:5).**

そこで天国は、十人のおとめがそれぞれあかりを手にして、花婿を迎えに出て行くのに似ている。

- **The "eternal kingdom" (2 Pe ペテロ第二の手紙 1:11).**

こうして、わたしたちの主また救主イエス・キリストの永遠の国に入る恵みが、あなたがたに豊かに与えられるからである。

- **an eternal weight of glory" (2 Co 第二コリント人への手紙 4:17),**

なぜなら、このしばらくの軽い患難は働いて、永遠の重い栄光を、あふれるばかりにわたしたちに得させるからである。

- **new heaven and earth wherein shall dwell righteousness(Ps 詩篇 102:25-27, Isa イザヤ書 65:17, 66:22, 2Pe 第二ペテロ 3:7, Rv 黙示録 21:1, Heb ヘブル人への手紙 12:26-28)**

わたしはまた、新しい天と新しい地とを見た。先の天と地とは消え去り、海もなくなってしまった。

- the tabernacle of God being with men (Rv 21:2-3,10,)

また、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意をととのえて、神のもとを出て、天から下って来るのを見た。 21:3 また、御座から大きな声が叫ぶのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして、